

# 給水施設

在コートジボワール日本国大使館  
(トーゴ兼轄)



(写真提供 : JICA)

2017年4月、ある日本人のコンサルタントが、都市から遠く離れたトーゴ北部の農村を訪れた時、一人の女性が近づいてきて、「日本人の方ですか？」と聞かれました。

コンサルタントが、「そうです」と答えると、伝えたいことがあるので、紙とペンを貸してくれないか、と言いました。コンサルタントは、自分の持っていたノートを出すと、女性はノートにメッセージを書き始めました。

書き終わると、女性はノートを返しながらか、「日本の建ててくれた給水施設によって、この村でも安全できれいな水が飲めるようになりました。その感謝の言葉を、JICAと、日本の皆さんにお伝えしたかったのです」と言いました。

女性はコミュニティの井戸組合の理事長でした。かけがえのない給水施設が、今日も住民たちの手で大切に管理され、生活に欠かすことのできないきれいで安全な水を人々に供給し続けています。

(関連情報) マリタイム及びサバナ地域村落給水計画

[https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/data/gaiyou/odaproject/africa/togo/contents\\_01.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/data/gaiyou/odaproject/africa/togo/contents_01.html)